

↑ご注文は今すぐFAXで！ 03-3451-3122 ↑

[番線印]

特集「被爆者と核兵器廃絶について考える」

出荷条件：返品条件付注文品

〒108-8346
東京都港区三田 2-19-30
慶應義塾大学出版会
TEL: 03-3451-3584
FAX: 03-3451-3122

核兵器廃絶を掲げてきたオバマ米大統領が伊勢志摩サミット参加にあわせ広島を訪問するとの報道が大きな話題となり、その動向が注目を集めていたことは、みなさまの記憶に新しいのではないかと思います。そこで今月は「被爆者と核兵器廃絶」をテーマに、関連する本を選びました。いずれも書評などで度々とりあげられている良書ですので、ぜひこれを機にご展開ください。



被爆者はなぜ待てないか ー核／原子力の戦後史

奥田博子 著
ISBN978-4-7664-2233-7 2015年6月刊
四六判上製 400頁 本体価格 2,700円

被爆国はなぜ、放射能汚染国になったのか。被爆者の視点から見た、広島・長崎への原爆投下から現在までの日本における核／原子力をめぐる戦後史。広島・長崎の被爆者、福島への被爆者への眼差しを欠いた「政治の貧困」についても、被爆者の声と反響し合いながら、説得力のある論を展開する。

ご注文数



原爆の記憶 ーヒロシマ／ナガサキの思想

奥田博子 著
ISBN978-4-7664-1725-8 2010年6月刊
四六判上製 514頁 本体価格 3,800円

戦後、ヒロシマとナガサキは、一体何を象徴し、神話化してきたのか。日本政府やマスメディアが形作る日本の戦争被害者観を透徹した眼差しで捉え返し、ヒロシマ／ナガサキの人類史的意義を問い直す。

ご注文数



被爆者調査を読む ーヒロシマ・ナガサキの継承

浜日出夫・有末賢・竹村英樹 編著
ISBN978-4-7664-1956-6 2013年3月刊
A5判上製 316頁 本体価格 3,800円

非被爆者である我々は、原爆の記憶を継承することができるのか。歴史に埋もれ忘れ去られた被爆者調査を読みなおし、〈生存者〉である我々の〈立場性〉と、ヒロシマ・ナガサキの継承の可能性をいま改めて考える。

ご注文数



東アジア研究所講座 アジアの「核」と私たちーフクシマを見つめながら

高橋伸夫 編
ISBN978-4-7664-2093-7 2014年3月刊
四六判並製 356頁 本体価格 1,800円

核の「平和利用」と「軍事利用」の線引きは可能なのか？核兵器の拡散や原子力発電所の建設増加で注目されるアジア諸国の核を、「フクシマ」の経験と教訓から多角的に考察する。

ご注文数